

健康通信

アレルギー性鼻炎について



耳鼻いんこう科部長医師

須賀 研治

花粉が飛び季節になると、くしゃみ・鼻水・鼻づまりで悩まれた経験はありませんか？

今回は耳鼻咽喉科の病気の中でも多くの患者様が通院されている「アレルギー性鼻炎」についてお話しします。

アレルギー性鼻炎とは？

アレルギー性鼻炎はアレルギーのもととなる原因物質（アレルギー）が、鼻の粘膜を刺激する事でアレルギー反応が起こる病気です。症状として、透明のさらさらとした鼻水、鼻づまり、発作的で連発するくしゃみの3つの症状が主となります。アレルギー性鼻炎には、アレルギーとしてスギ花粉やヒノキ花粉

アレルギー性鼻炎の診断・検査

問診で鼻症状の有無やペットの飼育歴等を確認し、鼻鏡を用いて鼻の中を観察して鼻粘膜の腫れがないか等を診察します。鼻水を採取して検査したり、血液中の抗原に対するIgE抗体を調べれば何にどの位の強さのアレルギーがあるかが分かります。

アレルギー性鼻炎の治療

アレルギー性鼻炎の治療は主に薬物治療、外科治療、免疫治療になります。

①薬物治療

花粉飛散開始とともに、または症状が少しでも現れた時点でお薬を開始することが推奨されています。代表的なお薬は、第2世代抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬、鼻噴霧用ステロイド薬などです。症状の内容や強さによって、お薬を単独で使用する場合や併用する場合があります。

②外科治療

外で行うレーザー治療から、入院加療が必要な手術もあります。アレルギー反応や過敏症が持続すると鼻の粘膜が徐々に腫れてきます。こうなると、薬が効き難くなり慢性的な鼻づまりや鼻水が続きます。鼻粘膜にレーザー照射をする事で、粘膜が硬く

なった後に鼻内で縮み、アレルギーを感じるレセプターの数を減らし、症状を緩和させる事が目的の治療です。

③アレルギー免疫療法

長期に症状を抑えることができ、抗ヒスタミン薬などのお薬の使用を減らすことが期待できる治療法の一つです。特に、アレルギーを舌下に投与する「舌下免疫療法」が2014年からスギ花粉症に対する一般治療として開始されました。舌の下に薬剤を投与し、アレルギー反応を起こさないような身体にしていく治療法です。2020年現在、スギ花粉症とダニアレルギー性鼻炎に対して治療が可能です。適応はスギ花粉、ダニアレルギー共に5歳以上で65歳未満になります。毎日、舌の下に薬を置いて内服する治療となり、治療期間が3〜5年間必要となります。

まとめ

アレルギー性鼻炎のつらい症状は、勉強・仕事・家事の支障や精神集中不良等さまざまな場面で影響をおよぼす事がわかっていきます。適切な治療をする事は生活の質の改善につながります。アレルギー性鼻炎の症状で悩まれている方は是非一度ご相談下さい。